

The EM

教育医事新聞

平成27年・2015年

3 / 25

月1回25日刊
第367号
半年/4440円 1年/8340円(送料・税込み)
1部 770円(税込み)
昭和63年5月24日
第三種郵便物認可

発行所
教育医事新聞社
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3-0002
電話(03)3356-6571(代)
FAX(03)3356-6571(代)
郵便振替口座00160-0191-0002
http://www.the-em.co.jp/
e-mail hensyubu@the-em.co.jp

◆死生学の必要性とQOLの理論モデル構築
死生学とQOL
藤井美和 著 A5判 本体価格3200円 978-4-86283-184-2
関西学院大学出版会

看取りで命の大切さ知る



いのちの授業でAEDを使った心肺蘇生法を学ぶ子どもたち

東近江市での生活風景を豊富な写真とともに描く

「地域医療は診療だけではない」

小学校で毎年、いのちの授業

本をたくさん置いている。地元の小学校の学校医も務める花戸氏は毎年、いのちの授業を開いている。低学年には聴診器で心臓の音を聞かせ、中学年には睡眠など生活習慣について話をし、高学年にはAEDの使用法などを指導し、命の大切さを伝えていく。赴任して15年。乳幼児健診や学校

「一緒に暮らしているおじいちゃんやおばあちゃん、食べられなくなり、やがて息が止まる。看取りは命の大切さを感じられる場面。そこに子どもが立ち会ったことは、命の大切さを知る意味でも大切なことだ。」

花戸氏が目指すのは障がいを持っていても認知症になっても最期まで安心して暮らせる地域にすること。そこには医師や看護師などの専門職だけでなく、子どもを含めた住民の協力が必要

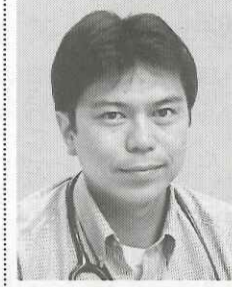
道友社の本
思いっきり抱きしめる子育てが、ここにあります。
家族を大切に
白熊繁一 著
■本体1,100円+税
四六判並製・192ページ

2015年度 第14回日本旅行医学会大会
4月、東京 テーマ「ヒトと環境の旅行医学」
2015年度 第14回日本旅行医学会大会が4月18・19日、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールで開催される。テーマは「ヒトと環境の旅行医学」。

農文協
東京107-8668
〒107-8668 東京都港区赤坂7-16-1
TEL 03(35585555)
FAX 03(35585555)
31642

いのちのちづくみどりびと
看取りや死を冷たい終末としてではなく、日常のなかにある次代に「いのちづくみどり」ものとして伝え、臨場感あふれる写真と文で、へいのちのバトンを、へいのちの有限性と継承性をゆたかに描く。

永源寺診療所 花戸 貴司 所長 (小児科医)



著者インタビュー

花戸氏は自治医科大学を卒業後、湖北総合病院小児科を経て2000年に滋賀県東近江市の永源寺診療所に赴任した。小児科を中心としたプライマリ・ケア医のつもりで来たが赴任した最初の月、訪れたのは高齢者ばかりで子どもの患者は少ない。地域医療は診療だけでは

ご飯が食べられなくなったら どうしますか？

永源寺の地域まるごとケア

少子高齢化がますます加速し、地方の農村地域では高齢化率がすでに30%を超えている地域も多い。こうした超高齢化社会の中で育つ子どもたち。このほど出版された「いのちづくみどり」が食べられなくなったらどうしますか？

紙面あんない
特集 小児医療・小児保健の最前線
大災害から学ぶ安全・防災教育... 2・5面
「言語発達障害」自己実現を支援... 4・5面
ロービジョン医療と教育の連携... 7面
レポート「学校精神保健研究会」設立
「認知行動療法」を学校で活用する... 11面
心に寄り添う緩和(ホスピス)ケア... 11面
レポート「ホスピタ医療啓発」を展開

写真でわかる 重症心身障害児(者)のケア
重度の障害を抱える重症心身障害児(者)の子を育てる親や周囲の人々を支援するために必要なケアを、日々の呼吸管理から身体の動かしかた、食事支援や排泄などの日常のケア、レクリエーション支援、生活を広げる外出の工夫までを収録。東京小児療育病院・みどり愛育園で長年勤務して培ったケアの「心」と「技術」をビジュアルで解説する画期的な1冊

いのちのちづくみどりびと
看取りや死を冷たい終末としてではなく、日常のなかにある次代に「いのちづくみどり」ものとして伝え、臨場感あふれる写真と文で、へいのちのバトンを、へいのちの有限性と継承性をゆたかに描く。

ご飯が食べられなくなったら どうしますか？
永源寺のお年寄りから分らなく死なないために、どう医療を選び、どう生活し、どう人と付き合ったかを、豊富な写真とともに描く。
●1800円+税